



第65回全国牛削蹄競技大会開催要領

I 開催日時

令和6年11月12日（火）

II 開催場所

競技大会 第1会場 笠間瑞穂株式会社瑞穂農場 鯉淵分場
茨城県水戸市鯉淵町5936-80

褒賞授与式 第2会場 公益財団法人鯉淵学園 鯉淵学園農業栄養専門学校
茨城県水戸市鯉淵町5965

III 開催日程の概要

1. 競技大会

- | | | |
|-----------------------------|--------|-------|
| (1) 開会式 | 8:30～ | 8:50 |
| (2) 牛削蹄判断競技 | 9:10～ | 9:50 |
| (3) 牛削蹄競技 | 10:10～ | 12:00 |
| (4) 削蹄判断牛の解説
(全国大会副審査委員) | 13:00～ | 13:30 |
| (5) 特別演技
(令和5年度優勝者) | 13:30～ | 15:00 |

- | | | |
|----------|--------|-------|
| 2. 褒賞授与式 | 16:00～ | 17:00 |
|----------|--------|-------|

IV 競技の概要

1. 牛削蹄判断競技

- (1) 筆答試問10分、牛削蹄判断30分。
- (2) 専門用語を漢字で書かせる筆答試問を所定の用紙に筆記して行う。
- (3) 判断用牛1頭について、当該牛の肢蹄の形態的特性等を所定の用紙に筆記して行う。

2. 牛削蹄競技

- (1) 予期される蹄病処置の申告。
- (2) 1人1頭を削蹄。
- (3) 規定時間40分。
- (4) 動物福祉の観点から、削蹄競技中に出血した場合、過削であろうと蹄病処置であろうと当該選手は競技を一旦停止し、速やかに当該選手を担当する競技委員に報告する。担当競技委員は報告を受けた時間を確認すると同時に、競技委員長および副審査委員長に報告する。競技委員長および副審査委員長は競技の継続が可能かどうかの判断および出血の簡易処置の指示を競技委

員に行う。当該選手は、出血の簡易処置が終わるまでは競技を再開できない上に、包帯が巻かれた蹄の削蹄は継続できないことに留意する。当該選手は競技を再開後、停止していた時間分を延長して競技することができる。なお、出血処置担当の競技委員を1名配置する。

V 競技成績による褒賞対象者数

区分	牛削蹄競技大会	
総合	最優秀賞	各1名
	優秀賞	
	3等賞	
種目別	優勝	各1名

VI 出場選手の選考と決定

- (1) 出場選手は、認定牛削蹄師であって、原則としてその所属する本会正会員たる地方会（以下「地方会」という。）会長又はこれに準ずる者の推薦によって選考される。
- (2) 本会会長は、競技大会の15日前までに、推薦者並びに選手本人に出場の可否を連絡する。
- (3) ブロック別出場選手数はおおむね下表のブロック別選手枠により決定する。出場希望者数がブロック別選手枠を上回る場合には、本会会長がこれを調整する。

北海道	東北	関東甲信越	近畿東海北陸	中四国	九州沖縄	計
4	6	2	1 (0)	2 (3)	9	24

注：近畿東海北陸ブロックに欠員がある場合は、前回優勝ブロック（中国四国）へ枠を回す。

VII 競技大会出場選手推薦書の提出

地方会会長またはこれに準ずる者は、全国牛削蹄競技大会規則第5条の規定に基づき競技大会出場選手推薦書を9月末日までに本会会長宛に提出するものとする。

VIII 参加費用

選手参加費用は2万円とし、納入後はいかなる理由があっても返納しない。

IX 選手旅費

支給しない。

X その他

その他競技大会の細事については、全国牛削蹄競技大会諸規程による。

XI 付帯行事

- ①令和5年度優勝者の木下栄政氏（広島県）による特別演技。